

避難に役立つ標識を設置します ～「まるごと まちごと ハザードマップ」を推進～

酒田河川国道事務所では、洪水に対する自主防災組織力向上の取組みとして、「まるごと まちごと ハザードマップ」の標識設置について、酒田市落野目地区、庄内町千河原地区と連携し進めて参りました。河川が氾濫した際、浸水する深さや避難所までの誘導が現地に表示されることで、迅速な避難行動に繋がることが期待されます。

このたび、酒田市落野目地区及び庄内町千河原地区代表者と町歩きを行い、洪水時の避難に役立つ標識を設置しますので、お知らせします。

○参加者：地区代表、酒田市、庄内町、酒田河川国道事務所

○集合場所：【酒田市落野目地区】
落野目公民館(11月26日 10時)

【庄内町千河原地区】
千河原公民館(11月27日 10時)

○設置箇所：落野目公民館の周辺電柱 17枚
千河原公民館の周辺電柱 20枚

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会

問い合わせ先

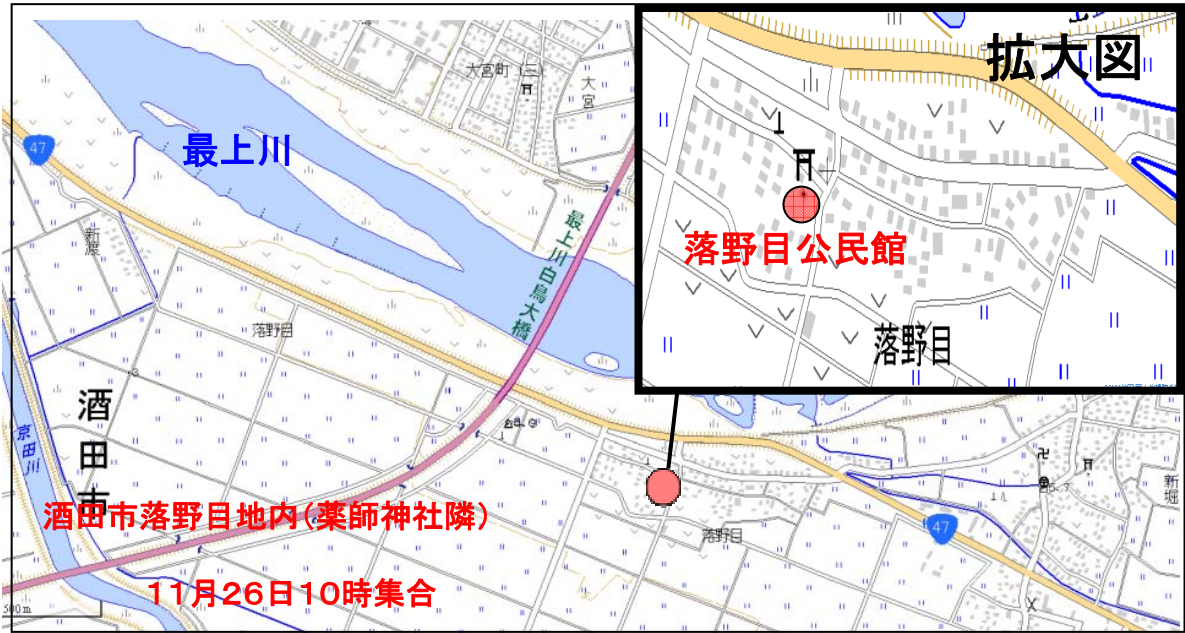
国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所

住所：酒田市上安町1-2-1 Tel:0234(27)3331

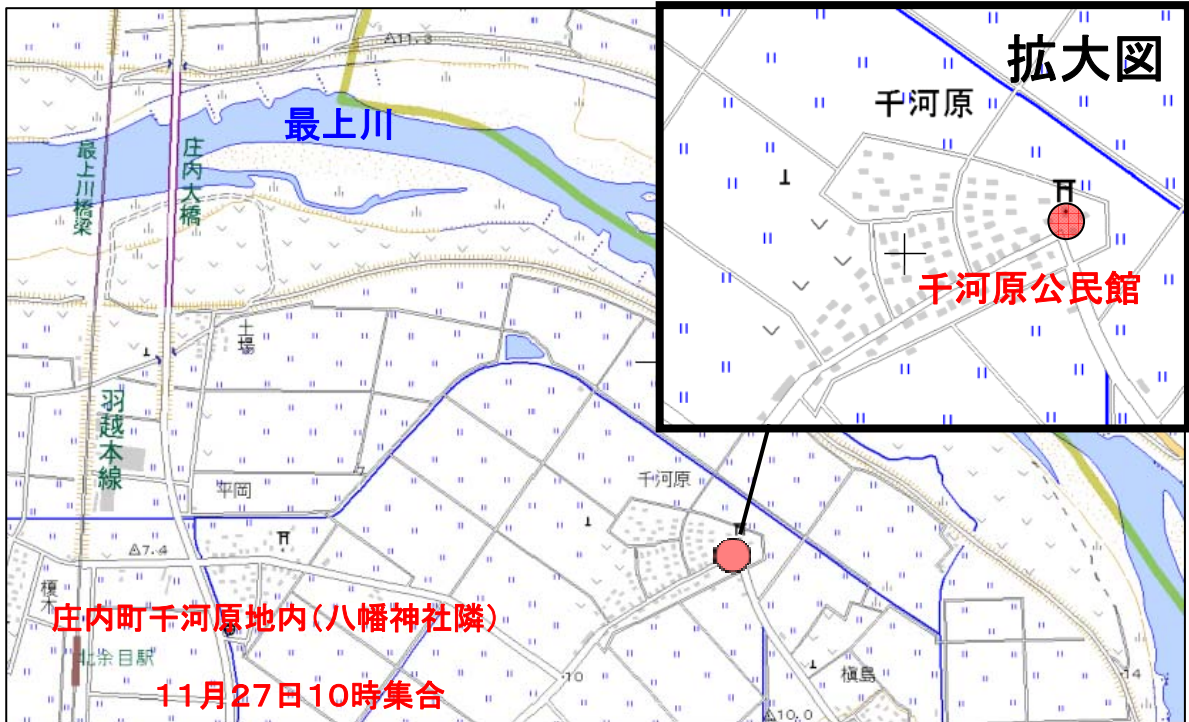
副所長(河川) 阿部 富雄(あべ とみお) 内線:204

調査第一課長 天野 厚毅(あまの こうき) 内線:351

【場所：酒田市落野目地区】



【場所：庄内町千河原地区】



まるごと まちごと ハザードマップとは

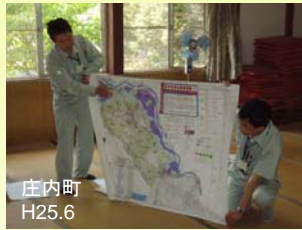
◇地域防災力の向上

ハザードマップとハザードマップ標識設置の説明会やハザードマップ標識の設置場所検討時に地元住民に参加してもらうことで、自主防災組織の活性化および参画したことによる防災意識高揚が図られ、防災力の向上が期待される。

◇標識設置による効果

日頃、浸水深や避難所等洪水に関する情報を洪水関連標識として生活空間である「まちなか」に表示し、緊急時に迅速な避難行動へ繋がる効果が期待される。

地元説明会



庄内町
H25.6



庄内町
H25.6

町歩き



庄内町
H25.6



庄内町
H25.6

標識設置



鶴岡市斎地区
H24.6



鶴岡市斎地区
H24.6

取り組み例

まるごと まちごと ハザードマップの標識設置例

日常時の洪水への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋げ、洪水による被害を最小限にとどめることを目的として、浸水深や避難所等洪水に関する情報を洪水関連標識として生活空間である「まちなか」に表示するものです。



酒田市落野目地区
標識イメージ



庄内町千河原地区
標識イメージ



標識の設置例